

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

2026



# 広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

1

NO.881



2026

1

NO.881



## 2025年の厚真を振り返る

皆さんはどんな1年でしたか？

12月11日	10月10日	10月10日	9月9日	9月9日	8月8日	7月7日	7月7日	6月6日	6月28日	5月5日	4月4日	4月1日	3月3日	3月19日	2月2日	1月26日	1月21日	1月12日		
令和7年町議会第4回定例会	厚真町文化祭ワーキング2025	地域活性化起業人1人に委嘱状を交付	大垣尊良さんに栄誉賞贈呈	令和7年北海道胆振東部地震厚真町追悼式	株式会社アーヴィーに善行賞贈呈	厚真町戦没者追悼式	S.ONEN「さわかみ北海道プロ」開催	浜厚真ビーチサイドフェスタ2025を初開催	NSA公認サーフィン大会 第5回厚真町長杯	町民グループ「あつまランニングパトロール隊」始動	国内最高峰のプロサーフィンツアー「さわかみ北海道プロ」	副業型地域活性化起業人1人に委嘱状を交付	地域おこし協力隊と地域活性化起業人の2人に委嘱状を交付	厚真町防災備蓄倉庫の内覧会	エア・ウォーター北海道・産業ガス株式会社に善行賞贈呈	幌内地区で「あつま町の植樹会」	令和7年町議会第2回定例会（～17日）	第53回あつま田舎まつり（～29日）	令和7年町議会第2回定例会（～17日）	第3回厚真町二十歳のつどい
（～12日）	（～10日）						（～13日）	（～13日）	（～3日）					（～13日）	（～13日）	（～13日）	（～13日）	（～13日）		
																		第18回あつま国際雪上3本引き大会		
																		第26回スタートエスタ2025 in あつま・第25回ファンタン祭り		

防犯と環境美化に貢献する  
あつまランニングパトロール隊



北海道で初めてのプロサーフィン  
ツアー「さわかみ北海道プロ」



## ひとのうごき

人口 4,215人 (-4)  
男 2,149人 女 2,066人

世帯数 2,120世帯 (-3)

12月12日現在 ( )内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3 2025年の厚真を振り返る
- 4 - 5 年頭のあいさつ
- 6 - 7 町からのお知らせ
- 8 まちの話題
- 9 防災のページ／Jアラート  
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 10 厚高インフォ／よりみち通信
- 11 地域おこし協力隊／将来の夢
- 12-13 保健の掲示板
- 14 健康情報
- 15 冬季栄養健康教室  
まちのアイドル／子育て支援センター  
いきいきサポートサロン
- 16 気象台ノート  
胆振東部消防組合 消防職員募集
- 17 情報ひろば
- 18 ATSUMA LOVERS

## 12月1日～12月12日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

## 厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

## 広報あつまはインターネットでも！

QRコード  
厚真町ホームページ  
トップページ下部のバナーから  
[広報あつま](#)

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町

## COVER



今月の表紙

新雪で覆われた厚真町郊外の森に、  
チェーンソーの音に交じって「アップ」  
「待て」の掛け声が響きました。厚真  
ならではの「馬搬」です。栗毛のカツ  
ップとあし毛のウクルが、作業を続けて  
いました。「前に進む象徴」として縁  
起物と言われる馬。干支にあやかり  
「厚真的繁榮」を願いました。



## 復興を礎に創生の道へ、丙午の躍動の年に

厚真町議会議長 渡部 孝樹

町民の皆さん新年あけましておめでとうございます。皆まとともに、令和8年の幕開けを迎えることを心よりお喜び申し上げます。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

れました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めています。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

れました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めています。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

れました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めています。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

## 将来像を共有しながら歩みを進める年に

厚真町長 宮坂 尚市朗

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

私たち、「震災に埋もれた悲しいまちで終わらせない」という固い決意を胸に、一步ずつ復興の道を歩んでまいりました。皆さまのご理解と協力により、国や北海道が主体となって進められた大規模な砂防事業、かんがい排水事業は完了、治山事業は来年度に完了する見通しで、生活空間と生産基盤の安全は大きく向上しました。厚真川左岸線の複線化やハビウ川の減災対策への着手、宅地耐震化推進事業も予定通りに進捗していま

す。歴史上類を見ない規模で被災した森林の再生も、来年度までを年間と位置づけ、未来を見据るにあたり、町民の皆さんに謹んで、「あいさつ申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力をしてまいりました。皆さまの理解と協力により、国や北海道が主体となって進められた大規模な砂防事業、かんがい排水事業は完了、治山事業は来年度に完了する見通しで、生活空間と生産基盤の安全は大きく向上しました。厚真川左岸線の複線化やハビウ川の減災対策への着手、宅地耐震化推進事業も予定通りに進捗していま

す。歴史上類を見ない規模で被災した森林の再生も、来年度までを年間と位置づけ、未来を見据るにあたり、町民の皆さんに謹んで、「あいさつ申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。



新年明けましておめでとうございます。令和8年の輝かしい新春を迎えるにあたり、町民の皆さんに謹んで、「あいさつ申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年北海道胆振東部地震の発災から年月を重ねても、犠牲となられた方々への痛悼の念は片時も薄れることはありません。あらためてご冥福をお祈り申し上げます。旧年中は町政般にわたり格別のご理解と協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

れました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めています。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

平成30年の北海道胆振東部地震において、本町は未曾有の被害を受けました。犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、復旧、復興にご尽力くださいました多くの方々に心から感謝申し上げます。あの日から今日まで、町民の皆さんは困難に立ち向かいながら、暮らしの再建や地域の復興にむけたゆまぬ努力を続けてこ

れました。町としても、住まいの整備や荒廃した森林の再生、宅地の耐震化対策など、防災と安全確保を町づくりの基盤として進めています。平素より町政ならびに議会運営に対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。本年は「丙午」にあたります。十干の「丙」は、明るさが広がり、物事が形となって動きだすことを象徴するとされ、十二支の「午」は力強い前進を示すと言われています。「丙午」の年は、これまで積み重ねてきた歩みが実を結び、新たな展開が拓かれる節目の年とされています。震災からの復旧、復興を着実に進めてきた本町が、オール厚真の力を結集し、未来へと大きく飛躍を象徴する一年となることを願っています。

## 空き家相談会

建設課 都市施設グループ ☎ 27-2325

空き家の活用や処分、適正管理を支援するため、空き家相談会を開催します。

### 内容

町内の空き家・空き建物に関する町の各種助成制度・相談・登記・税・売却・解体・建物検査など、幅広いご相談にお答えします。

※詳細はホームページまたは広報あつま1月号の折込チラシをご覧ください。

### 対象

町内に所在する住宅の所有者・納稅義務者、世帯主や法定相続人など、現在または将来にわたって、住宅の活用または処分の権限を有する方

### 日時

2月14日(土)10時～16時

### 場所

総合福祉センター  
※オンライン会場、札幌会場も開設します。

### 申し込み

1月9日(金)までに申し込みフォームから申し込んでください

※本事業は町が(株)シー・アイ・エス  
計画研究所に委託をしています。



申し込みフォーム

## 農業者年金巡回相談会

農業委員会事務局 ☎ 27-2409

厚真町農業者年金協議会では、農業者年金巡回相談会を開催します。

### 内容

J A北海道中央会より農業者年金派遣相談員を講師に迎え、農業者年金の受給見込額の試算や経営継承時の特例付加年金を受給する方法、注意点など、個別の状況に応じて丁寧にご説明します。また、希望者には個別相談会も行いますので、ぜひご参加ください。

### 対象

農業者年金待機者等  
(旧制度、新制度年金受給予定者等)

### 日時

1月19日(月)13時30分から

### 場所

総合福祉センター2階青年室

### 申し込み

1月9日(金)までに農業委員会事務局にお申し込みください。

## 水道凍結にご注意ください

建設課 上下水道グループ  
☎ 27-2326

水道が凍結しないように天候に合わせて対策を行いましょう。

寒い季節が到来しました。ニュースや天気予報などをチェックし、低温の予報が出たときは水道の水抜きを行うようにして凍結には十分注意しましょう。

一度凍結させてしまうと、水が出なくて不便なだけではなく、修理に多大な費用がかかる場合があります。

厳寒期は、夜間だけではなく昼間も凍る場合がありますので油断しないようにしましょう。

水抜き栓は、複数力所あつたり目立たない所にあります。場所や動作状態を確認するようにしましょう。



住民課 税務グループ ☎ 26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

## 償却資産は申告が必要です

償却資産は所有者による毎年の申告が法律によって義務付けられています。

### 償却資産の申告について

固定資産税は、土地、家屋、償却資産に課税されます。土地や家屋には登記制度があり、課税対象を把握することができますが、償却資産には登記制度がないため、所有者による毎年の申告が法律によって義務付けられています。

### 償却資産とは

事業のために所有している土地・家屋以外の資産(構築物、機械・装置、船舶、航空機、車両・運搬具、工具・器具、備品など)  
〔例〕太陽光発電設備、パソコン、ビニールハウス、ブームスプレーヤー、畔塗機

※軽自動車税の対象になるものは、償却資産の課税対象ではありません。

### 申告期限

2月2日(月)

### 申告先

住民課税務グループまたは上厚真支所

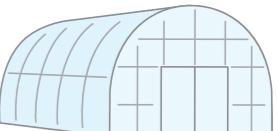
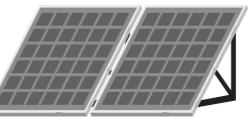
### 申告書類

前年度に申告した人や新規に事業を開始した人などには12月中に申告書類を送付しています。

お手元に届かない場合や新たに申告書類が必要な場合、住民課税務グループにお問い合わせいただき、町ホームページからダウンロードしてください。



町ホームページ



### 対象者

令和8年1月1日時点で町内に事業のために所有する償却資産を所有している個人・法人

※確定申告とは別に申告してください。

※正当な理由がなく申告しないときは過料が科される場合があります。

## 放課後児童クラブ(学童保育)・放課後子ども教室 令和8年度利用者登録

生涯学習課 社会教育グループ  
(青少年センター内) ☎ 27-2495

放課後児童クラブ(学童保育)と放課後子ども教室の令和8年度利用者登録を開始します。

### 放課後児童クラブ

#### ・開設期間

小学校の授業日	下校時～18時30分
土曜日・学校休業日	8時30分～18時30分

※日曜日、祝日、12月30日～1月4日を除く



詳しくはこちら

・実費負担金 1人1ヶ月あたり600円

### 放課後子ども教室

#### ・実施日

厚真中央小学校	低学年…木曜日 高学年…金曜日
上厚真小学校	低学年…月曜日 高学年…水曜日



※火曜日は予備日

詳しくはこちら

・参加費 無料

### 対象

小学校1～6年生

※令和7年度に登録しているお子さんも  
申し込みが必要です。

### 募集期間

1月30日(金)まで

### 申し込み先

教育委員会 生涯学習課社会教育グループ  
上厚真支所、各放課後児童クラブ

### 提出書類

①登録申請書 ②個人票

各書類は各小学校を通じて配布するほか、各児童クラブにもあります。町ホームページからもダウンロードできます。新入学児童は、こども園または郵送により配布します。



# 防災のページ

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

上厚真自主防災組織  
コミュニティタイムライン策定

## 上厚真自主防災組織が コミュニティタイムライン策定

上厚真自治会自主防災組織は、今年5月から10月までコミュニティタイムラインを策定する4回のワークショップを開きました。1回目は防災計画の必要性や水害の危険性を学習、2回目に上厚真地区の水害リスクや避難先を検討、3回目で誰が・いつ・何をするのかなどルールづくり、4回目は避難行動要支援者（単独での避難が難しい方など）の避難について検討し、地域の防災力を高めました。



## 令和7年度厚真町防災図上訓練

11月15日（土）に令和7年度厚真町防災図上訓練を実施しました。北海道や環境防災総合政策研究機構の支援を受け、消防署厚真支署・札幌方面苦小牧警察署・室蘭海上保安部苦小牧海上保安署・陸上自衛隊第7特科連隊第1特科大隊とともに、遠地津波を想定しました。

訓練は8時30分に開始し、遠地津波（震央から約600km以遠の国外で発生した地震に伴う津波）による大津波警報が発表されたという想定で行われました。役場職員71人が、北海道の防災システムなどを活用して情報収集・分析などを行い、避難者への対応、ドローンによる偵察など多岐にわたり訓練しました。町は今後も各種訓練を通じて災害対応を強化します。



## Jアラート 全国一斉情報伝達試験

**2月6日 金 11時ごろ**

地震・津波や武力攻撃などの発生時に備え、次のとおり情報伝達試験を行います。

本試験において防災行政無線が雑音等により、聞き取れないなど不具合がありましたら、総務課情報防災グループまでお問い合わせください。

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

Jアラートの自動起動機を使用して防災行政無線と屋外拡声器から放送される標準メッセージは次のとおりです。  
(上りチャイム音♪)  
「これは、Jアラートのテストです」×3回  
「こちらは、ぼうさいあつます」  
(下りチャイム音♪)

※携帯電話やスマートフォンなどへの伝達はありません。

※災害等の発生により、試験を中止した場合の予備日は2月20日（金）の11時ごろです。



## 住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は10月末時点で全世帯数の93.0%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上ののみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119



地震はいつどこで起こるか分かりません。○自宅の建築年度を確認しましょう▶自宅が昭和56年5月以前に建築されている場合は、耐震診断を受けることをお勧めします。役場に相談しましょう。  
○家具等の転倒防止対策▶家具・家電メーカー、ホームセンター等で販売されている転倒防止用品を活用しましょう。



## 厚真高校3年生の探求学習成果発表会

厚真高校3年生の探求学習成果発表会が11月21日に体育館で開かれ、生徒たちはテーマに沿って発表しました。

探求学習は、生徒の主体性を育み、高校の魅力化を図る取り組みです。3年生の8グループ1個人は、職場体験での経験や特産品の開発とPR、福祉など、さまざまな分野からテーマを決めて仮説を立て、アンケート調査や職場に出かけて改善策など模索・検証しました。在校生も積極的に質問を投げかけ、会話のキャッチボールを通じて学習意欲を高めました。



積極的な質疑が寄せられた探求学習成果発表会

## むし歯のない子どもの表彰式開催

むし歯のない子どもの表彰式が11月、厚南会館と総合ケアセンターゆくりで開かれ、今年度4歳になる対象児30人のうち健康歯に認定された23人が賞状と記念品を受け取りました。

表彰式は、上厚真地区が11月14日に厚南会館で、厚真市街地地区が同28日に総合ケアセンターで行われました。賞状は、住民課健康推進グループ職員手作りで、子どもの写真が貼付されています。名前を呼ばれた子どもたちは、照れながら返事をして賞状と記念品を受け取りました。住民課の宮本幸世参事は「口の中を健康に保つことは、感染症の予防につながりとても大切です。今後も歯磨きを続けてください」と呼びかけました。



賞状と記念品を受け取る子ども

## 歳末たすけあいチャリティー即売会と演芸大会にぎわう



衣類などを買い求める市民の皆さん





## 子どもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト <a href="#">http://www.pref.hokkaido.jp</a>
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間:9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合は、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2ヶ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ(*1)	生後2～60ヶ月未満	(初回)生後2～7ヶ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13ヶ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60ヶ月未満	(初回)生後2～7ヶ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15ヶ月未満(初回後60日以上あけて1回)
五種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90ヶ月未満	(初回)生後2～7ヶ月未満に、20～56日あけて3回 (追加)初回6～18ヶ月あけて1回
二種混合(ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5ヶ月～1歳未満	生後5～8ヶ月未満に1回
MR混合(麻疹・風疹)	(1期)生後12～24ヶ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36ヶ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15ヶ月未満に1回 (追加)初回後6～12ヶ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6ヶ月～7歳6ヶ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV(ヒトパピローマウイルス)(9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生(6ヶ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2ヶ月以上あけて2回接種した後、1回目から6ヶ月以上あけて1回)

(\*1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。

【注意】四種混合ワクチンは、生産終了に伴い接種できなくなりました。接種機会を逃してしまった方は個別に健康推進グループにご相談ください。

あつまクリニック以外で  
インフルエンザや  
新型コロナウイルスの  
予防接種を受けた方に  
接種費用を助成しています

対象者: 満1歳～12歳、65歳以上、60～64歳で障害を有する方  
対象接種期間: インフルエンザ: 令和7年10月1日～令和8年1月31日  
新型コロナウイルス: 令和7年10月1日以降  
申請に必要な物: ①申請書(健康推進グループ窓口またはホームページ)  
②領収書(接種の種類・接種者・接種日・接種費用がわかるもの)  
③通帳等(振込先口座が確認できるもの)  
申請先: 令和8年3月23日(月)までに健康推進グループまたは上厚真支所へ

# 保健の掲示板 2月

住民課 健康推進グループ ☎ 26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



## 健診・検診・相談・教室など

### 乳児健診

対象 ①令和7年8月20日～令和7年11月25日生まれ  
②令和7年2月20日～令和7年5月25日生まれ

とき 2月25日(水)※個別に案内

ところ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ(②のみ)

### 献血

とき 2月4日(水)  
9時30分～11時

ところ 厚南会館

### こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか?

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲むなど
- ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。
- 臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。
- 一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。



とき 1月16日(金)、2月20日(金)  
10時～15時(1人あたり50分程度)

ところ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに健康推進グループに  
お申し込みください。

### 保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎ 0144-34-4168

相談・検査の名称 日程

女性の健康相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
---------	-----------------------

肝炎ウィルス検査・梅毒検査	月2回 感染が疑われる方は無料 (要事前確認)
---------------	-------------------------------

骨髄バンク登録	要事前予約 (随時受付)
---------	-----------------

登録の基準があります	要事前予約 (随時受付)
------------	-----------------

HTLV-1抗体検査	要事前予約 (随時受付)
------------	-----------------

HIV検査(エイズ相談)	月2回 無料、匿名検査(要事前確認)
--------------	-----------------------

エイズ専用電話 ☎ 0144-35-7474

### 2月の夜間・日曜・祝日の医療機関

#### 内科・小児科系

#### 外科系

診療時間: 9時～17時

日 程	病院名	住 所(苫小牧市)	電 話(0144)
1日(日)	苫小牧東部脳神経外科	北栄町2-27-27	53-5000
8日(日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
11日(水祝)	とよた腎泌尿器科クリニック	元中野町2-17-12	31-2000
15日(日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
22日(日)	アーケ整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111
23日(月祝)	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	75-5111

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



### 北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます  
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp> ☎ 0120-20-8699 ☎ 011-221-8699(携帯・PHSから)

# 健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871  
(総合ケアセンターゆくり内)

**厚真町食生活改善推進協議会主催**

## 冬季栄養健康教室

保健師・栄養士の講話や  
健康維持・増進のための軽い運動、  
調理実習を行います。

問い合わせ・申し込み 住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)

日 時：1回目：1月20日(火)  
2回目：2月19日(木)  
どちらも9時30分～13時30分  
場 所：総合ケアセンターゆくり  
介護実習室・調理実習室  
対 象：町民の方 定 員：各20人  
持ち物：エプロン、三角巾、運動靴  
参加費：無料  
申し込み：1月9日(金)まで

### \*まちのアイドル\*

3歳のお子さんの写真を募集しています。  
住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、  
両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の  
上、まちづくり推進課企画調整グループへ。  
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp




**子育て支援センター**  
**2月のよてい**

子育て講座 ポニーとあそぼう  
内 容：ポニーと触れ合ったり馬ぞりに乗って遊びます！  
日 時：①2月12日(木)10時～11時 上厚真中央公園  
②2月19日(木)10時～11時 京町グラウンド  
服 装：手袋・帽子・防寒着(上下)を着用してください  
申し込み：各前日まで

●自由開放…月曜～金曜日 9時～12時/13時～15時 ●サークル活動(予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

申し込み・問い合わせ・予約・相談  
厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)  
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)  
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

地域子育て相談機関(要予約)  
月曜～金曜日 15時～17時  
皆さんの子育てに  
親身に寄り添いサポートします。

LINEで予約

**いきいきサポートサロンに参加しませんか？**

いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話ししたい時など、自由に利用できます。

月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動しませんか？人生の先輩から知恵と技術が学べます。

月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9	10	11	12	13
16	17	18	19	20
23	24	25	26	27

**月・木** 介護予防体操[10時～11時] 担当：高橋/村上/山崎  
ストレッチ、有酸素運動、脳トレ

**火** 介護予防体操[10時～11時] 担当：板垣  
がんばらない椅子ヨガなど

**水** 趣味の活動[13時～15時]

**金** ババカフェ[10時～15時] 高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン  
京町34 ☎29-7535  
開放時間▶月曜～金曜日 9時30分～17時  
無料水分補給カフェコーナー▶月曜～木曜日 9時30分～15時



担当  
保健師 柿崎 瞳

今月のテーマ

### 感染症を予防しよう

厳しい寒さが続いている間に過ぎませんか？インフルエンザ等の感染症の流行は、気温・湿度の低下や室内での人との接触機会が増えています。今年は、例年よりインフルエンザの流行が早く、患者数は増加傾向にあります。人との接觸機会が増えることが要因といわれています。感染症対策についてお知らせします。

#### 感染症ほどどのようにかかる？

病気の原因となるウイルスや細菌等が直接体に害をおよぼし、さまざまな症状を引き起こすことを感染症といいます。他人のせきやしゃみの飛沫を吸い込んだり、感染した人が触った物に触れた手で目や鼻、口を触るなどする、粘膜から人体に入つて感染します。

#### 感染症対策

次の7項目をお勧めします。

- ①こまめな手洗いと手指消毒
- ②せきエチケット
- ③マスクの着用
- ④こまめな水分補給
- ⑤免疫力を高める
- ⑥環境を整える(換気、室温・湿度の調整)
- ⑦予防接種を受ける

喉や鼻の粘膜を潤してウイルスの侵入を防ぐため、30分に1回の水分補給を中心に行いましょう。マスクを着用して飛沫は、マスクにかかる際に感染を予防しましょう。

バランスの取れた食事、十分な休養、適度な運動(1日20～30分程度)を中心に行いましょう。バランスの取れた食事、十分な休養、適度な運動(1日20～30分程度)を中心に行いましょう。室内の空気を入れ替えましょう。室温20～25度、湿度50～60%が目安です。

### みんなで予防 インフルエンザ

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

インフルエンザをはじめとする感染対策の基本は「手洗い」「咳エチケット」「換気」です。

**コマメに換気**  
寒いと、つい窓をしめっぱなしにしがちですが、ときどき窓や扉を開けて空気を入れ換えましょう。

**マメに手洗い**  
指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いをしましょう。

**咳エチケット**  
マスク、ティッシュ・ハンカチ、そでなどで鼻と口をおおいましょう。

**マメちゃん**

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

## 情報ひろば

**運転免許証  
更新時講習** 2月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。この他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

**[10時30分～11時]**  
3日(火)、4日(水)、6日(金)、10日(火)  
12日(木)、17日(火)、18日(水)、19日(木)  
25日(水)、26日(木)、27日(金)

**[13時30分～14時]**  
5日(木)、13日(金)、20日(金)、24日(火)  
(一社)苫小牧地区交通安全協会  
☎0144-33-1458

**町税・保険料  
今月の納期**



科目	国民保険料(第4期)
	後期高齢者保険料(第4期)
納期	2月2日(月)

問い合わせ  
住民課 町民生活グループ☎26-7871

**国税の納付は  
キャッシュレス納付をご利用ください**



国税の納付にはさまざまな方法がありますが、なかでも、下記のキャッシュレス納付は、簡単・便利に納付ができますので、ぜひご利用ください。

キャッシュレス納付を利用すれば、確定申告期等の窓口が混雑する時期に、金融機関や税務署に出向くことなく、自宅やオフィスから納付できます。

**振替納税**

事前に税務署または金融機関に届け出ることで、振替日に預貯金口座から自動的に納付ができます。なお、一度届出を行えば継続してご利用が可能です。

**クレジットカード納税**

パソコン・スマホ等から、「国税クレジットカードお支払サイト」にアクセスし、必要事項を入力するだけで納付ができる、事前の届出は必要ありません。なお、納付税額に応じた決済手数料がかかります。

**その他の納税手段**

ダイレクト納付・インターネットバンキング・スマホアプリ納付など、ご自身に合った納付手段を選択できます。

詳しくはホームページをご確認ください

問い合わせ  
苫小牧税務署  
☎0144-32-3165

### 北方領土の日 特別啓発期間について

我が国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島および択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

しかし、ロシアによるウクライナ侵略によって日露関係は厳しく、平和条約交渉や北方領土四島交流事業

など、今後の見通しは厳しい状況が続いている。

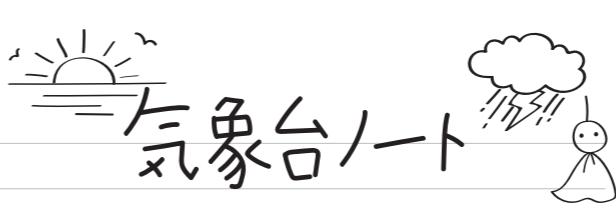
北海道では、毎年2月7日の「北方領土の日」を中心に1月21日から2月20日までを「北方領土の日 特別啓発期間」と定め、重点的に北方領土返還要求の啓発活動を行っています。

### こぶしの湯あつま イベントカレンダー 2月

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

日	月	火	水	木	金	土
1 ちびっこ	2 [3倍] シルバー	3 メンズ	4 高齢者券	5 レディース	6 [3倍] レディース	7
8 ちびっこ	9 シルバー	10 メンズ	11 高齢者券	12 [3倍] レディース	13 [2倍] レディース	14
15 ちびっこ	16 [3倍] シルバー	17 メンズ	18 高齢者券	19 レディース	20	21
22 ちびっこ	23 シルバー	24 メンズ	25 [2倍] 高齢者券	26 [3倍] 風呂の日	27 [2倍]	28

\*イベントは予告なく変更することがあります。



### 気象台ノート

#### 北海道・三陸沖後発地震注意情報

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域やその周辺でマグニチュード7.0以上の地震が発生した後、続いて巨大地震(後発地震)が発生する可能性が平常時より相対的に高まっている際に発表される情報です。また、巨大地震の発生可能性が平常時より相対的に高まっていると言っても、特定の期間中に巨大地震が必ず発生するということをお知らせするものではありません。

このような背景があるものの情報を発表するのは、比較的大きな地震が発生した後に、その周辺で巨大地震が発生している事例が知られ、たとえ不確実性が高くとも警戒レベルを上げ被害軽減を

図り、地震への日ごろの備えと準備を呼びかけ、より多くの人命を守る取り組みです。

情報が発表されたら、1週間程度は社会経済活動を継続しつつ、日ごろの備えの再確認と、すぐに避難できる準備をしましょう。



「北海道・三陸沖後発地震注意情報」  
普及啓発用動画 (YouTube)

問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249

### 令和8年度 胆振東部消防組合 消防職員募集

#### ■募集職種

消防職員(深夜業務を含む交代制勤務)

■募集人員 2人

■採用予定日 4月1日

■勤務地 胆振東部消防組合管内(安平町、厚真町、むかわ町)

#### ■受験資格

①高等学校卒業以上(大卒、短大卒、専門学校卒を含む)で平成9年4月2日以降に生まれた方

②普通自動車運転免許(A T限定不可)を有する方、または採用予定日までに取得できる方で、採用後、勤務署所在地に居住可能な方

③消防職員として、職務遂行に必要な体力・体力を有し健康である方

※次のいずれかに該当する人は受験できません。  
・日本の国籍を有しない方

・禁錮以上の刑に処せられその執行を終わるまで、または、その執行を受けることがなくなるまでの方  
①受験申込書(最近6ヶ月以内に無帽の上半身を写したもので、本人である

と確認できる縦4cm・横3cmの写真を貼ること)

②エントリーシート(自筆で記入、①と同様に写真を貼ること)

※胆振東部消防組合消防本部総務課に直接請求するか、ホームページからダウンロードしてください。

③卒業証明書(卒業見込み証明書)

④学業成績証明書(最終学校のもの)

⑤自動車運転免許証の写し(取得者)

⑥受験票送付用封筒(長形3号封筒に住所・氏名を記入し110円切手を貼付)

#### ■受付期間

1月16日(金)まで

#### ■受付期間

持参: 土曜・日曜日、祝日を除く8時30分～17時15分  
郵送: 1月16日(金)の消印有効

■受付・問い合わせ  
胆振東部消防組合消防本部総務課  
〒059-1604 厚真町錦町47番地2  
☎26-7100

<http://iburi119.sakura.ne.jp/>




二十歳のつどいの実行委員  
Vol.69 中島 藍音さん

厚真中学校を卒業後、理工学の専門家を目指して札幌市内で一人暮らしを続けています。級友との深い絆が、今も健在です。「婚との再会がとても樂しいです」。二十歳のつどいの実行委員で、当曰「二十歳の主張」を行う公立千歳科学技術大学一年、中島藍音さんに一時帰省した町内で話を聞きました。

“感謝を胸に秘めマチを支えたい”

「感謝」を感じてもらおう。聞くほど音の響きや言葉の意味を辞書で調べ、最終的にアイヌ語辞典から「ウカム」に決めた「ウカム」。アイヌ民族とは縁はあってもかくが、アイヌ語で「魂」や「命」の意味がある「ウカム」が語源です。「人を重んじて命語を大切にしたい」と改めて、両親に感謝ですね」と、口づけをいぼし始めた。家庭は母の夫と、友人や地域住民との「ハーモニーケーション」を大事にしながら、自己研鑽を続けています。生涯思ひ出の場所と語るのは、表町公園です。幼少のころからの遊び場でもある、仲間との語りの場です。「公園に行くと、母の命をねたものに頭が集まつてしまおう」。雑談したり、人生観を語ったり…。落ち着くじらつか、心を通わせる大切な場所なんだよ」。昭和東部地震では、厚真中学校の体育館で約2万円の避難所生息料を余儀なくされたましたが、仲間との「語の場」が、難局を乗り切る「励みの場」になりました。実家に帰省するとき、「自然と足が向かい出す」。大学では、半導体について学んだりもす。明確な将来の進路はまだ決まっていませんが、光半導体分野を研究したりと考へています。「ハーモニースタジアムの工場が隣にあるので、社員の方と語る機会が増えたびに興味が湧いてくるのです」。町外での就職先を考えていて、外からの厚真を見守ってもらいたいと想っています。

中島さんにとって、厚真是心のもう片であり、自分を育ててくれた母のじゅ。

「家族や仲間、恩師…。母ちゃんと感謝の気持ちを伝べ、成長したから、それが恩返しつんだ」

厚真で暮らす人、働く人、応援してくれる人、訪れる人…  
みんな、みんな、ATSUMA LOVERS